

# 大阪府済生会中津病院形成外科を受診された患者さんへ

当院形成外科では下記の臨床研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

|                   |   |
|-------------------|---|
| 研究名               | Covid-19 流行によるマスクの着用が、日本人の顔面におけるレーザー治療希望部位へ与えた影響  |
| 当院の研究責任者          | 形成外科 野村健志   |
| 研究の概要・背景・目的       | レーザー治療は、主に良性の皮膚病変に対して整容性の改善を目的に行われていますが、治療を希望される部位は患者さんによって様々です。2020年1月に我が国初めてのCovid-19感染者が報告されて以来、様々な場面でマスク着用が必要となり、鼻や口を他人に見られる機会が減り、眼周囲などその他の部位に注目が集まるようになりました。当院では、このような社会の変化が日本人の美意識に与える影響を調べるため、患者さんがレーザー治療を希望される部位の傾向について、Covid-19の流行前後でどのように変化したか、診療録を調査して検討を行います。   |
| 調査データ<br>該当期間     | 2017年1月1日から2022年12月31日までの情報を調査対象とします。   |
| 対象となる患者様          | 上記期間内に当院で顔面のレーザー治療を受けられた方。  |
| 研究方法              | 上記期間内に当院で顔面の良性の皮膚病変に対し、レーザー治療を受けられた患者さんの電子カルテの診療記録、画像記録を利用します。Covid-19流行以前に治療を受けた群と、流行以降に治療を受けた群に分け、マスクで覆われる領域の治療を希望された患者さんの割合を統計的に比較し、日本人の整容的改善を希望する部位の変化を比較・検討します。  |
| 個人情報の取り扱い         | 利用する情報には、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は含まれません。研究結果は学会発表や学術雑誌への投稿を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。  |
| 本研究の資金源<br>(利益相反) | 本研究に際して、経済的な利益関係や利益相反はありません。  |
| お問い合わせ先           | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。<br>ご希望があれば、研究計画書などの関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。<br>また、診療情報や画像記録が当該研究に用いられることを、患者さんもしくは患者さんの代理人の方がご了承いただけない場合は、研究の対象としないので下記の連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。<br>ただし、既に研究結果が論文などで公表されていた場合は、提供していただいたデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。<br>担 当 者：形成外科 野村健志<br>電 話：06-6372-0333 |